

白馬

幸手市立吉田小学校 学校だより <令和元年10月1日10月号>
<学校教育目標> <児童数>

☆みんなと仲良くする子 にこにこ 男子 44名
☆こつこつ勉強する子 わくわく 女子 35名
☆しっかり運動する子 のびのび 合計 79名



10月

「スマホが脳を破壊する」

校長 二階堂 朝光

スマホを使っている子供たちは学力が低下し続ける——。この恐ろしい事実をご存じでしょうか。これは脳科学で知られる東北大学教授・川島隆太先生の研究で明らかになったものです。LINEやフェイスブックなどのSNSは、いまや現代人にとって欠かせないツールであり、それは子供たちも同じです。しかし、その世界に浸りきっていると、脳は大変なダメージを受けるというのです。

スマホ等（ネット接続ができる機器全般、ゲーム機も含む）と脳の関係について、新たなことが解明されています。これまで、スマホ等を使う時間が長いほど学業成績が悪いということが分かっていました。脳トレで有名な川島隆太先生は、「スマホを捨てれば、偏差値10向上も夢ではない」と述べています。ただ、これまで謎だったのが、スマホ等の利用によって、勉強したことまで無に帰してしまうという現象です。どういうことかと言うと、仙台市の小5・6年生、中学生を対象にした調査（7万人対象、7年間調査）で、「毎日2時間勉強する生徒がスマホ等を3時間以上使うと、ほとんど勉強しなかった生徒のほうが成績がよい」という結果が出ています。「えっ、勉強してるのにどうして？」と思われるでしょう。一体、「2時間分の勉強」はどこに消えたのでしょうか？

有力な説は、スマホ等が気になって勉強に集中できていないからではないか、というものでした。実際に、データによると、勉強中に「音楽を聴く」66%、「ゲームをする」34%、「動画を視聴する」44%、「LINEをする」43%という結果がでています。いわゆる「ながら勉強」です。確かに勉強の効率は悪そうですが、それでも勉強したことが無に帰すことはないように思われます。昔も、「ながら勉強」はあったはずですから。

ところが、青少年のスマホ等を使った「ながら勉強」は、勉強の効率が悪いだけでなく、脳の「認知機能の低下」「記憶力の低下」「衝動性の高まり」等を引き起こすということが解明されました。人の脳は一つのこと集中するようにできており、邪魔になる情報を自動的に抑制します。スマホ等の多機能を使って多くの作業を同時に行うことによって、脳がうまく働かなくなったことが原因のようです。川島隆太先生は、スマホ等の長時間使用、それ自体が脳の働きを抑制すると述べています。結局、「2時間分の勉強」は、脳の機能低下によって消えてしまったばかりか、認知症と同じように脳の萎縮も見られたのですから恐ろしいことです。

スティーブ・ジョブズは自分の子供にはiPadもiPhoneも触らせなかった、という有名な話があります。欧米のIT企業関係者の多くも、子供のスマホ等の利用については、「平日禁止で週末だけ許可する」「14歳まで与えない」「使用時間を制限する」「寝室には持ち込ませない」等の厳格なルールを設けているのが一般的だそうです。特に、10歳以下の場合、スマホ等の中毒になりやすいと考えられています。彼らは、スマホ等の利用が青少年の脳に与える悪影響をよく理解しています。

これと逆行しているのが、まさに日本の現状です。昨年5月の東京都の小・中・高対象の調査によると、スマホ利用の低年齢化（都内小学生のスマホ利用は40.4%）と長時間化が一層進むとともに、約6割の児童生徒の保護者が「適切に監督できていない」と答えています。スマホ等と脳との関係は、今後さらなる解明が待たれるところですが、私は、子供にスマホを持たせること自体を考える必要があると考えます。持たせるのは、子供たちに自制心を身に付けさせたときまで止めるべきです。子供たちの未来のために、周りの大人が正しい知識をもって早急に対応する必要があるのではないのでしょうか。

参考引用文献「スマホが学力を破壊する」川島隆太著集英社新書

<「埼玉県学力・学習状況調査」と「全国学力・学習状況調査」結果から>

4月11日（木）に「埼玉県学力学習状況調査」、4月18日（木）に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。県の学力調査は、「学習した内容がしっかりと身に付いているか」という視点に加えて、「一人一人の学力がどれだけ伸びているのか」という視点で行われています。いずれの調査とも、県平均、全国平均を上回る成績をあげることができました。また、県の調査から、5年生、6年生の学力が、昨年より伸びている児童が多いことも分かりました。これもご家庭のご協力があったからだと思えます。ありがとうございました。

この結果に満足することなく、子供たちが確実に学習内容を習得するために、

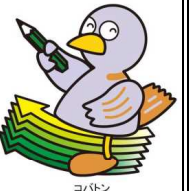
①学校の学習で基礎的基本的な学習内容をしっかりと理解すること

②学んだ学習内容を次の学習に活用すること

③学校で学んだ学習内容を定着させるための振り返り学習を行うことが重要だと考えております。今後も、学校では、さらに分かりやすい授業や子供たちが考え方を深められる授業を、工夫していきたいと思っております。さらに、子供たち一人一人の力を確実に伸ばすことにも努めていきます。

ご家庭におきましても、引き続き、家庭学習や学習用具の準備等への声かけや見届けをよろしくお願い致します。

埼玉県学力学習状況調査



<11月の主な行事予定>

1日（金）～7日（木）彩の国教育週間

1日（金）彩の国教育の日

2日（金）土曜授業公開

第2回吉田小学校運営協議会

吉田っ子フェスティバル

なかよし給食

3日（日）文化の日

4日（月）振替休日

5日（火）親子歯みがき教室（1・2年生）

スマホ・ケータイ安全教室
（3～6年生）

6日（水）幸手市小中学校音楽発表会（4年生）

クラブ活動

7日（木）薬物乱用防止教室（5・6年生）

<第2回学校保健安全委員会>

読み聞かせ

11日（月）登校指導・安全点検

13日（水）クラブ活動

校外学習

（東武動物公園・あすなる学級）

14日（木）埼玉県民の日

15日（金）おはなしの森

16日（土）資源回収

17日（日）アウトメディアチャレンジ

資源回収（26日まで）

19日（火）校内持久走大会（予備日：20日）

20日（水）クラブ活動

23日（土）勤労感謝の日

25日（月）開校記念日

27日（水）委員会活動

校外学習

（キッザニア東京・4年生）

ストーブ取付

29日（金）校内書きぞめ読書会



<お知らせとお願い>

○10月3日（木）は、就学時健康診断のため、全学年4時間授業で、給食後、13:00完全下校です。通常より早い下校となります。下校後の生活について学校でも指導しますが、ご家庭においても安全な生活と家庭学習への励ましと見届けにご協力をお願いします。

○10月13日（日）には吉田地区体育祭・吉田小運動会を開催します。この日が中止になりますと、13日はお休みとなり、14日（月・祝）に実施、14日も中止になった場合は14日も休みになります。両日とも中止の場合は、両日ともお休みとなりますので、15日（火）は、振替休業日ではなく、弁当を持参しての授業日となります。ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

<11月1日は彩の国教育の日>



彩の国教育の日

埼玉県では、教育に関する理解を一層深めていただくため、「彩の国教育の日」を設け、学校・家庭・地域が一体となった取組を推進しています。また、1日から7日は教育の日の趣旨にふさわしい活動を重点的に行う期間として「彩の国教育週間」としています。本市、本校でも、学校公開、音楽会や親子歯みがき教室、スマホ・ケータイ安全教室・薬物乱用防止教室、人権教育に関する授業参観などを実施します。是非、ご参加ください。

◎毎月1日は諸経費の引き落とし日です。引き落としができるように、ご協力をお願いします。